

企画競争に係る企画提案書の
提出を求める公示に係る予定情報の公表

国土交通省航空局 航空ネットワーク部
空港計画課 課長 楠山 哲弘

次のとおり、企画競争に係る企画提案書の提出を求める公示に係る予定情報を公表します。

○令和 7年 5月 16日公表分

1. 業務名	バーティポート整備計画検討業務
2. 業務概要	<p>我が国のバーティポート整備については、EASA 等の世界標準を参考とした「バーティポート整備指針」が令和 5 年 12 月に策定・公表されたところである。</p> <p>令和 7 年度の大阪・関西万博における空飛ぶクルマの二地点間運航の実現以降も、「空の移動革命に向けたロードマップ」に沿って、空飛ぶクルマを活用するために必要となるバーティポートの整備計画のあり方を示すことにより計画的にバーティポートを普及・促進し、広域的なネットワーク、都市内運航の実現など、空飛ぶクルマの社会実装を目指す必要がある。</p> <p>本業務は、バーティポートの適地選定の手法・考え方、整備効果分析、経済性分析、最適な施設規模の検討手法・考え方、広域的ネットワークを検討し、バーティポート整備計画のあり方を取り纏めるものである。</p>
3. 公示予定時期	令和 7 年 5 月下旬
4. 業務内容に関する問い合わせ先	〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 国土交通省 航空局 航空ネットワーク部 空港計画課 電話 03-5253-8111 内線 49217

企画競争に係る企画提案書の
提出を求める公示に係る予定情報の公表

国土交通省航空局航空ネットワーク部航空ネットワーク企画課 指田 徹

次のとおり、企画競争に係る企画提案書の提出を求める公示に係る予定情報を公表します。

○令和7年5月12日公表分

1. 業務名	共用空港における空港運営の民間委託手法等検討調査
2. 業務概要	共用空港の特性を踏まえた複数の民間委託手法における具体的な基本スキーム案の検討及び実現可能性の検証、当該業務に伴う関係省庁との協議に係る支援を行う
3. 公示予定時期	令和7年6月下旬
4. 業務内容に関する問い合わせ先	〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3 国土交通省 航空局 航空ネットワーク部 航空ネットワーク企画課 空港経営改革推進室 電話 03-5253-8711 (代表) 内線 49111

企画競争に係る企画提案書の
提出を求める公示に係る予定情報の公表

国土交通省航空局航空ネットワーク部航空ネットワーク企画課 指田 徹

次のとおり、企画競争に係る企画提案書の提出を求める公示に係る予定情報を公表します。

○令和7年5月2日公表分

1. 業務名	松山空港における資産調査等総合アドバイザー業務等の請負
2. 業務概要	松山空港の国有財産・物品・契約・協定等の現況を把握し、課題等の整理を行うことにより、松山空港の活性化手法や収支の改善方策およびコンセッション方式の導入可能性について検証する。
3. 公示予定時期	令和7年6月上旬
4. 業務内容に関する問い合わせ先	〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3 国土交通省 航空局 航空ネットワーク部 航空ネットワーク企画課 空港経営改革推進室 電話 03-5253-8711（代表）内線 49111

企画競争に係る企画提案書の
提出を求める公示に係る予定情報の公表

国土交通省航空局 交通管制部
管制技術課 課長 今村 純

次のとおり、企画競争に係る企画提案書の提出を求める公示に係る予定情報を公表します。

○令和7年4月25日公表分

1. 業務名	画像認識等デジタル技術を活用した滑走路誤進入検知技術の検証
2. 業務概要	2024年1月に発生した羽田空港における航空機衝突事故を契機に設置された羽田空港航空機衝突事故対策検討委員会の中間取りまとめ(令和6年6月)において、ヒューマンエラーが発生した場合においても事故に至ることの無いよう、デジタル技術等を活用した滑走路誤進入検知システムを強化する必要性が提言された。 本業務では、新たなレーダー技術や画像認識技術を空港面監視に使用し、滑走路誤進入検知システムの更なる検知精度向上のため、これら技術の検証を評価用器材を用いて行う。
3. 公示予定時期	令和7年5月下旬
4. 業務内容に関する問い合わせ先	〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3 国土交通省 航空局 交通管制部 管制技術課 電話 03-5253-8111 内線 51455

企画競争に係る企画提案書の
提出を求める公示に係る予定情報の公表

国土交通省航空局交通管制部
管制課長 石川 誠

次のとおり、企画競争に係る企画提案書の提出を求める公示に係る予定情報を公表します。

○令和 7年 4月 24日公表分

1. 業務名	音声認識技術を活用した滑走路誤進入防止のための 支援機能構築に係る調査
2. 業務概要	<p>【目的】</p> <p>2024年1月に発生した羽田空港における航空機衝突事故を契機に設置された羽田空港航空機衝突事故対策検討委員会の中間取りまとめ（令和6年6月）において、仮にヒューマンエラーが発生した場合においても事故に至ることの無いよう、デジタル技術等を活用した滑走路誤進入検知システムを強化する必要性が提言されている。管制側のシステム強化として、音声認識技術による管制交信のテキスト化及びそれを活用した認識齟齬等の検知・警告について調査・研究を進めることとしている。</p> <p>本調査では、管制交信の高度なテキスト化、テキスト解析による管制指示・管制官やパイロットの意図のデータ化、データ化された指示・意図を管制情報処理システムへ取り込むことによる、滑走路誤進入防止をはじめとした支援機能の実装を目指す。</p> <p>【内容】</p> <p>本調査の目的を理解の上、音声認識技術を用いた航空管制官向けの滑走路誤進入防止支援機能の社会実装に向け、一般的なベンダーが製造可能なアーキテクチャの構築を行うこと。本調査の企画提案にあたっては、以下を考慮すること。</p> <p>(1) 航空管制に使用する言語は英語が主であり、一部に日本語を用いていること。</p> <p>(2) 支援機能は、航空管制官が使用する既存のインターフェー</p>

	<p>ス上で利用可能であること。</p> <p>(3) アーキテクチャ構築にあたっては、プロトタイプ又はそれに準ずる機材を製造し、支援機能として利用可能であることが確認されること。</p> <p>(4) 履行期間内にアーキテクチャの構築を完了することが不可能であると予め想定される場合は、構築完了までの必要な期間及び当該期間における工程を示すこと。なお、令和7年度に実施する内容は詳細に示すこと。</p> <p>【テーマ】</p> <p>なお、本調査で予定される提案テーマは、以下のとおりである。</p> <p>(ア) 飛行場管制業務の理解と当該業務に潜在するリスクの整理</p> <p>(イ) リスクを低減するために支援機能に求められる要件の整理</p> <p>(ウ) 海外における技術開発に係る動向等の調査</p> <p>(エ) 現存する音声認識技術の技術水準の調査</p> <p>(オ) 音声認識技術を航空管制に特化させて育成する手法</p> <p>(カ) 管制官が使用する既存のインターフェース、システム構成等に関する理解</p> <p>(キ) プロトタイプの要件検討</p> <p>(ク) 航空局が発注し製造するシステムから利用可能なあらゆる情報を活用して、認識率を向上させる手法</p> <p>(ケ) 最終的なアウトプットまでの行程と単年ごとの進捗</p>
3. 公示予定時期	令和7年6月中
4. 業務内容に関する問い合わせ先	<p>〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3</p> <p>国土交通省 航空局 交通管制部 管制課</p> <p>電話 03-5253-8111 内線 51222</p>